

# 市が保育の一定基準を設けることが必要

「現在の取り組みを進めていく」



戸田の会 酒井 郁郎 議員

**議員** ①全国の保育施設で死亡事故が起こっている。戸田市においても、園によっては、安全確保のノウハウ不足や、古い考え方の保育内容から更新がなされていない等の指摘がある。現状、多様な事業者が保育を行っているので、市が一定基準を設けることが必要。  
②公立学童保育は、預り時間中のプログラム充実等の改善を。また、

働く保護者の子のみならず、全ての児童を対象とした放課後の成長の場である「全児童対策」への移行を。

**市長** ①現在の取り組みを進めていく②検討していく。

## シニアのセカンドライフ充実に向けて

**議員** 次年度、高齢者福祉計画を策定するが、介護予防の概念を拡大し、シニアの健康づくりや就労支援、住



シニアのセカンドライフ充実に向けた取り組み大会(写真はシルバースポーツ大会…平成27年)

居や独居対策等、セカンドライフ充実に向けた総合的な計画にしては。

**市長** 計画策定において議論していきたい。

## マンション住民の「コミュニティ参加」

**議員** マンション住民や転入者は町会・自治会加入が少なくないように思う。近年建設された大規模マンションは町会未加入、自治会設置も難航しているなど問題である。建設の際にマンション内のコミュニティ設置の義務付けや町会・自治会加入を求めるとマンション住民のコミュニティ参加に向けた対策を。

**市長** コミュニティ参加につながるよう努める。

# 県内市で一番高い介護保険料引き下げを

「低所得者への配慮を検討する」



日本共産党戸田市議団 花井 伸子 議員

**議員** 平成29年度は第7期介護保険料見直しである。現在、戸田市の介護保険料は県内市の中で最も高い保険料になっている。保険料引き下げは、市民の強い願いである。せめて埼玉県平均の保険料に引き下げるべきである。

**市長** 高齢化が進み介護給付費の増加が見込まれる中、介護保険料

を引き下げることが大変難しい。介護予防事業等を推進し、介護給付費の抑制につながることで、健全財政の維持を図る。第7期においては低所得者に配慮した適正な所得段階となるよう検討する。

## 保育園待機児をゼロに

**議員** 保育園の待機児童緊急対策アクションプランに基づく事業の実施で、待機児ゼロにすることができると。



市民医療センター

**市長** 用地確保や運営事業者新規参入に課題などあるが、認可保育所の新設を中心に受け入れ枠を拡大し、平成31年4月までに待機児童解消を目指している。

## 市民医療センターは市直営を堅持すべき

**議員** 市民病院のない戸田市にとって、市民医療センターはかけがえない公共施設である。積極的経営改善を行い直営を堅持すべき。

**市長** 平成30年度から5年間の改革プランで経営改善を図るとともに、引き続き、市民に「安心・安全・安定」した医療を提供したい。

## 広報紙AR動画

### 戸田市の広報番組で使い方を紹介できないか

「実施する方向で検討したい」

林冬彦 議員



**議員** 広報戸田市に掲載のAR動画は、どう活用されているか。

**政策秘書室長** 広報戸田市では、読みやすく魅力のある紙面づくりを目指してさまざまな取り組みを実施している。スマホをかざすと写真が動きだし様子を印象的に伝えるAR動画もその一つ。市内の出来事を写真で紹介する「TODAY'S TODAY」

**議員** 広報紙での特集や広報番組「ふれあい戸田」でAR動画の使い方を紹介できないか。

**議員** ODAや、市長メッセージ、表紙等で活用。今後は市が取り組む事業を紹介する際も活用していく。

**議員** 全国のふるさと納税返礼品の紹介は「モノ」情報中心。戸田市では「モノ」を生み出した「人」に注目し、「戸田市の人こそ戸田市の魅力・可能性」という観点から、込められた思いや開発の物語等も紹介することで、共感や応援したい気持ちを生み出すようにしてはどうか。

**環境経済部長** 今後の返礼品として、花火大会や戸田マラソン等の参加体験型も検討。品物については「生産者の思い等」をより発信していくよう、ホームページをはじめ工夫していく。

# 一般質問



平成 29年 3月 24日撮影

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

